



Hyper-V または SQL Server over SMB構成の計画 ONTAP 9

NetApp
February 12, 2026

目次

Hyper-VまたはSQL Server over SMB構成の計画	1
ボリューム設定ワークシートへの記入	1
SMB共有設定ワークシートへの記入	2
SMB共有のプロパティおよび設定に関する情報	2
共有パスに関する情報	3
計画ワークシート	4

Hyper-VまたはSQL Server over SMB構成の計画

ボリューム設定ワークシートへの記入

ワークシートを使用すると、SQL Server および Hyper-V over SMB 構成のボリュームを作成するときに必要な値を簡単に記録できます。

各ボリュームについて、次の情報を指定する必要があります：

- Storage Virtual Machine (SVM) 名

SVM 名はすべてのボリュームで同じです。

- ボリューム名
- アグリゲート名

クラスター内の任意のノードにあるアグリゲート上にボリュームを作成できます。

- サイズ
- ジャンクション パス

アプリケーション サーバー データを保存するために使用するボリュームを作成するときは、次の点に留意してください：

- ルート ボリュームにNTFSセキュリティ スタイルがない場合は、ボリュームを作成するときにセキュリティ スタイルをNTFSとして指定する必要があります。

デフォルトでは、ボリュームはSVMルート ボリュームのセキュリティ スタイルを継承します。

- ボリュームは、デフォルトのボリューム スペース保証を使用して構成する必要があります。
- オプションで、自動サイズ調整スペース管理設定を構成できます。
- スナップショットのスペース予約を決定するオプションを `0` に設定する必要があります。
- ボリュームに適用されているSnapshotポリシーを無効にする必要があります。

SVM スナップショット ポリシーが無効になっている場合は、ボリュームのスナップショット ポリシーを指定する必要はありません。ボリュームは SVM のスナップショット ポリシーを継承します。SVM のスナップショット ポリシーが無効になっておらず、スナップショットを作成するように設定されている場合は、ボリューム レベルでスナップショット ポリシーを指定し、そのポリシーを無効にする必要があります。シャドウ コピー サービス対応のバックアップと SQL Server バックアップは、スナップショットの作成と削除を管理します。

- ボリュームに対して負荷共有ミラーを設定することはできません。

アプリケーション サーバーが使用する共有を作成する予定のジャンクション パスは、共有エントリ ポイントの下にジャンクション ボリュームが存在しないように選択する必要があります。

例えば、「vol1」、「vol2」、「vol3」、「vol4」という4つのボリュームに仮想マシンファイルを保存したい場合は、例に示すような名前空間を作成できます。その後、アプリケーションサーバーの共有を

/data1/vol1、/data1/vol2、/data2/vol3、`/data2/vol4`というパスに作成できます。

Vserver	Volume	Active	Junction Path	Junction Path Source
vs1	data1	true	/data1	RW_volume
vs1	vol1	true	/data1/vol1	RW_volume
vs1	vol2	true	/data1/vol2	RW_volume
vs1	data2	true	/data2	RW_volume
vs1	vol3	true	/data2/vol3	RW_volume
vs1	vol4	true	/data2/vol4	RW_volume

情報の種類	値
ボリューム1：ボリューム名、アグリゲート、サイズ、ジャンクションパス	
ボリューム2：ボリューム名、アグリゲート、サイズ、ジャンクションパス	
ボリューム3：ボリューム名、アグリゲート、サイズ、ジャンクションパス	
ボリューム4：ボリューム名、アグリゲート、サイズ、ジャンクションパス	
ボリューム5：ボリューム名、アグリゲート、サイズ、ジャンクションパス	
ボリューム6：ボリューム名、アグリゲート、サイズ、ジャンクションパス	
追加ボリューム：ボリューム名、アグリゲート、サイズ、ジャンクションパス	

SMB共有設定ワークシートへの記入

このワークシートを使用して、SQL ServerおよびHyper-V over SMB構成用に継続的な可用性を実装したSMB共有を作成する際に必要となる値を記録してください。

SMB共有のプロパティおよび設定に関する情報

共有ごとに、次の情報を指定する必要があります。

- Storage Virtual Machine (SVM) 名

SVM 名はすべての共有で同じです

- ・共有名
- ・パス
- ・共有プロパティ

次の2つの共有プロパティを設定する必要があります。

- oplocks
- continuously-available

次の共有プロパティは設定しないでください。

- homedirectory attributecache
- branchcache
- access-based-enumeration
 - シンボリックリンクを無効にする必要があります（`-symlink-properties` パラメータの値は null [""] にする必要があります）。

共有パスに関する情報

リモートVSSを使用してHyper-Vファイルをバックアップする場合は、Hyper-Vサーバから仮想マシン ファイルの格納場所へのSMB接続を確立する際に使用する共有パスの選択が重要になります。共有はネームスペース内の任意のポイントに作成できますが、Hyper-Vサーバで使用される共有のパスに結合されたボリュームを含めることはできません。ジャンクション ポイントを含む共有パスでシャドウ コピー処理を実行することはできません。

データベース ディレクトリ構造を作成する場合、SQL Serverはジャンクションを横断できません。ジャンクション ポイントを含むSQL Serverの共有パスは作成しないでください。

たとえば、示されている名前空間の場合、仮想マシン ファイルまたはデータベース ファイルをボリューム「vol1」、「vol2」、「vol3」、および「vol4」に保存するには、アプリケーション サーバーの共有を次のパスに作成する必要があります： /data1/vol1、/data1/vol2、/data2/vol3、および /data2/vol4。

Vserver	Volume	Junction		Path Source
		Active	Junction Path	
vs1	data1	true	/data1	RW_volume
vs1	vol1	true	/data1/vol1	RW_volume
vs1	vol2	true	/data1/vol2	RW_volume
vs1	data2	true	/data2	RW_volume
vs1	vol3	true	/data2/vol3	RW_volume
vs1	vol4	true	/data2/vol4	RW_volume



管理用に `/data1` および `/data2` パス上に共有を作成することはできますが、それらの共有を使用してデータを保存するようにアプリケーション サーバーを構成しないでください。

計画ワークシート

情報の種類	値
ボリューム1: SMB共有名とパス	
ボリューム2: SMB共有名とパス	
ボリューム3: SMB共有名とパス	
ボリューム4: SMB共有名とパス	
ボリューム5: SMB共有名とパス	
ボリューム6: SMB共有名とパス	
ボリューム7: SMB共有名とパス	
追加ボリューム: SMB共有名とパス	

著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を隨時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5225.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用権を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用権については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。